



①奥で店番をする第2世代の皆さんと遊びに来たその子どもたち ②よく知る風景が描かれた絵を見ながら、人々が集い、談笑する。絵画を見るだけではない素敵な空間が広がる ③古典フラのグループがカヒコダンス(伝統的なフラダンス)を披露。メンバーの一人が御在所山に登ったのがきっかけで、梅久保のファンになったそう ④梅久保の夏休を描いた椎名寛さんの絵

移住とまではいなくても、「地域がこれ以上疲弊しないように。消滅させたくないきね」そう話すのは、昔の青年団員で今年梅久保の区長も務める奥宮泰彦さん。「できる人ができることをして、無理しない。地域が元気であるには、まず人が元気でないと」

このイベントで強く感じたのは、それぞれの絆が新たなつながりを生み、どんな広がりを生み、どんなこと。それは世代を超え、地域を超えたものだ。黒岩さんと高木さんの親子の絆があり、高木さんと椎名さんの縁で絵画展が開催された。梅久保を離れて暮らす昔の青年団の子どもの世代も、当日はスタッフを買って出る。そして友達にイベントを紹介することで、県内外から若い人が梅久保を訪れ、地元のお年寄りたちと交流する。

広がりを見せる一助となつてくれるのは、インターネットやSNS※の存在だ。黒岩さんがこんなエピソードを紹介してくれた。

「椎名さんが描いたJR薊



©椎名寛

※SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、インターネットでいろいろな人たちとつながることのできるサービスの総称。フェイスブックはそのサービスの一つ。

人をつなぐ手伝いができないかと。まだまだスタートしたばかりですけどね」穏やかに話す黒岩さんに気負いはない。

物語を大切に

今回開催された『絵画展&マルシェ』は、東京を中心に活躍する気鋭の画家・椎名寛さんと、黒岩さんの

長女である高木史織さんが友人だったことがきっかけだ。高木さんから、香美市や梅久保の魅力を度々話に聞いていた椎名さんは、今年1月香美市を訪れ、魅力的な人や風景をスケッチ。約80点を作品として仕上げ、絵画展の開催に至った。

素朴で身近な事柄を描いたそれらの絵には、見る人

それぞれが感じる物語が宿る。歴史や思い出、伝統や文化だ。黒岩さんは言う。「せっかくな歴史や文化が息づくこの土地で催しをするのだから、ただ飲んで騒ぐだけのイベントにはしたくない。その土地の人々が守ってきたものを大切に、物語の見える企画をしていきたい」

6月25日は、朝から梅雨らしい静かな雨。この日は、香北町梅久保の『昔の青年団』が、『御在所山のふもと絵画展&マルシェ』を開催する日だ。

『昔の青年団』とは何とも面白いネーミングだが、57年前の元青年団員らが集まり、「地域のために何かしよう」と再結成を果たしたのが昨年のこと。平均年齢71歳の青年たちが、地域に爽やかな風を吹かせている。

再結集。そもそも契機は

「楽しいイベントで地域を盛り上げよう!」というだけの思いで、昔の青年団が立ち上がったわけではない。そこにはもつと切実な理由があった。

地域のシンボルとも言える御在所山には、葦生山祇神社があり、梅久保と、清爪・大東・大井平の4地区が協力して管理をしてきた。しかし近年、押し寄せる高齢化の波により、この4地区だけで神社を守ることが難しくなってきたと言う。

「一地域の人口が少なくなつた分、地域と地域がつな

がって、お互いに助け合つていく必要があると感じた」と、昔の青年団の黒岩世履さんは言う。その上で、「一昨年、初めて隣にある永野地区に応援を頼み、協力してもらった。逆に、永野地区で応援が必要となつた。そうした地域を超えたつながりが、今後ますます必要になってくると思います」と話してくれた。

単独の地域ではいざずれ立ち行かなくなる。他の地域との連携が必要。これは多くの地域が感じていることだろう。しかしそれを呼びかけ、新しい体制を築くのはパワーのいる仕事。『言いだしっぺ』になるのは腰が引ける。「昔の青年団を立ち上げることで、地域と地域、人と

地域のくんに「今度は何をやるぞね」と期待される喜び!



©椎名寛

特集 朝ですよ 一地域をおこす人々

昔の青年団が再結集。つながりを生む地域おこし

昭和40年の手前に解散した梅久保地区の青年団。香北町の山間に位置するこの集落で、かつての青年たちが集まって楽しい企画を繰り広げている。世代を超え、地域を超えて広がる人々のつながりとは。



ケース01 昔の青年団 香北町梅久保

昨年はしろくま楽団を呼んで、御在所山のふもとJAZZライブを開催。ふもとイベント第2弾の今年は絵画展!さて来年は...

昔の青年団 黒岩 世履 さん

昔の青年団のメンバー(前列左から、萩野啓子さん、北村節子さん、奥宮泰彦さん。後列左から、黒岩崇さん、門脇嗣夫さん、萩野秀男さん、奥宮達也さん、黒岩世履さん)